

せせらぎ



令和3年11月11日
富士市立原田小学校
学校だより 11月号

(令和3年度 重点目標) ○「いいね。」をたくさん見つけよう ○よくきいて よく考えよう

真剣に考えたい ネットの利用について

校長 若田 泰一

コロナウイルス感染症の流行が落ち着きを見せ、教育活動の幅が広がってきています。休み時間、子どもたちが元気に運動場を走り回ったり、音楽室から楽器演奏の音が聞こえてきたりするようになりました。このままコロナが終息に向かうことを心より願っています。

さて、10月25日(月)に、富士警察署の生活安全課少年サポートセンターのスタッフをお招きし、6年生を対象に、「SNSやインターネットに関する安全講座」を行いました。また、11月10日(水)には、NTTドコモのスタッフをお招きし、5年生を対象に同様の安全講座を開催しました。

本校の子どもたちのネット利用については、気になるデータがあります。11月4日付けの「せせらぎ 臨時号」でもお知らせしましたが、全国学力状況調査で、「平日、一日当たり、テレビゲームやスマホを使ってゲームをする時間が2時間以上」の項目で、本校6年児童の割合は65.5%と、県や全国平均(静岡県平均50.4% 全国平均49.4%)に比べて大きく上回りました。また、富士市の小中学校全体でも、インターネット利用を起因とする問題行動の報告数が、平成29年度は24件でしたが令和2年度には52件と倍増していることも気になるところです。

GIGAスクール端末が導入され、子どもたちにとってネット社会がより身近となる中、そこで起こりうる生徒指導上の問題を未然に防ぐ必要性に迫られていることを強く感じています。



それぞれの講座から、次のような内容を学ぶことができました。

- ・何気ない1枚の写真からも、個人情報が出てしまうこと。
- ・ゲーム依存とは、脳の「悪い習慣化された」状況であること。
- ・SNS上のいじめと思われるやり取りを発見した時の対処の方法。
- ・文字だけで気持ちを伝えることは難しいこと。 など



これからも、定期的にネット利用についての指導を計画していきますが、ご家庭でも、話題にし、子どもたちをネット被害から守っていきましょう。